

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月21日

茨城県知事
大井川 和彦 殿

提出者

住 所 栃木県小山市土塔241番地7
氏 名 川上建設株式会社 小山支社
支社長 小 塙 達 夫
電話番号 0285-28-3968

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	川上建設株式会社 茨城支店 各工事作業所
事業場の所在地	茨城県内 各工事作業所
事業の種類	建設業・総合工事業・一般土木建築工事業 [0611]
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙のとおり t	全処理委託量	別紙のとおり t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	優良認定処理業者への処理委託量	— t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	認定熱回収業者への処理委託量	— t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t
※事務処理欄			



(日本工業規格 A列4番)

R4年度目標值及已實績

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)

不要物等発生量	有償物量
---------	------

①	568,120
---	---------

②	0
---	---

③	0
---	---

④	0
---	---

項目	実録値
①排出量	568,120
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	568,120
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	568,120
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0

項目	実録値
②自ら直接再生利用した量	0
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0
④自ら中間処理した量	0
⑥自ら中間処理した後の残さ量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら中間処理した後、直接受け及び自ら中間処理した後の残さ量	0
⑪自ら中間処理した後、直接受け及び自ら中間処理した後の残さ量	568,120
⑫自ら中間処理した後、直接受け及び自ら中間処理した後の残さ量	0
⑬自ら中間処理した後、直接受け及び自ら中間処理した後の残さ量	0
⑭自ら中間処理した後、直接受け及び自ら中間処理した後の残さ量	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量

自ら中間処理した後 再生利用した量

排出量

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

項目	実績値
①排出量	5,950
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
③自ら熱回収を行った量	0
④自ら中間処理により減量した量	0
⑤自ら中間処理により減量した量	0
⑥自ら中間処理した後 の残さ量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑧自ら中間処理した後 再生利用した量	0
⑨自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5,950
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理 委託量	5,950
⑬熱回収認定業者への處 理委託量	0
⑭熱回収を行う業者以外の 処理委託量	0
⑮のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	0
⑯のうち熱回収認定 業者への処理委託 量	5,950
⑰のうち再生利用 業者への処理委託 量	0
⑱のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0
⑲のうち中間処理した 後再生利用した量	0
⑳のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0

項目	実績値
①自ら中間処理した後 再生利用した量	0
②自ら中間処理した後 直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	5,950
③自ら中間処理した後 再生利用した量	0
④のうち熱回収認定 業者への処理委託 量	5,950
⑤のうち熱回収認定 業者以外の処理 委託量	0
⑥のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0
⑦のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0
⑧のうち中間処理した 後再生利用した量	0
⑨のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0
⑩のうち中間処理した 後再生利用した量	0
⑪のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0
⑫のうち中間処理した 後再生利用した量	0
⑬のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0
⑭のうち中間処理した 後再生利用した量	0
⑮のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0
⑯のうち中間処理した 後再生利用した量	0
⑰のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0
⑱のうち中間処理した 後再生利用した量	0
⑲のうち直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	0
⑳のうち中間処理した 後再生利用した量	0

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

有価物量
不要物等発生量

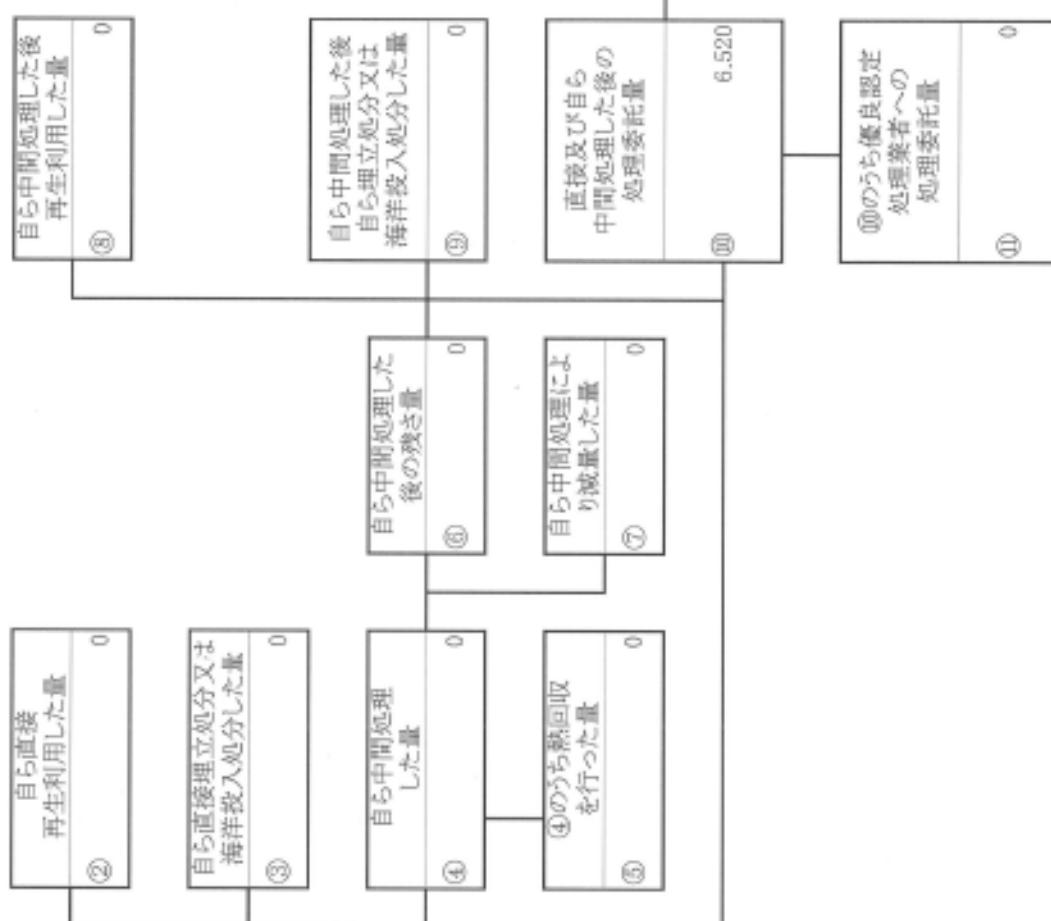
不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
② 0

排出量
① 6,520

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③ 0

項目	実績値
①排出量	6,520
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理による減量した量	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6,520
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	6,520
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

有償物量

不要物等発生量

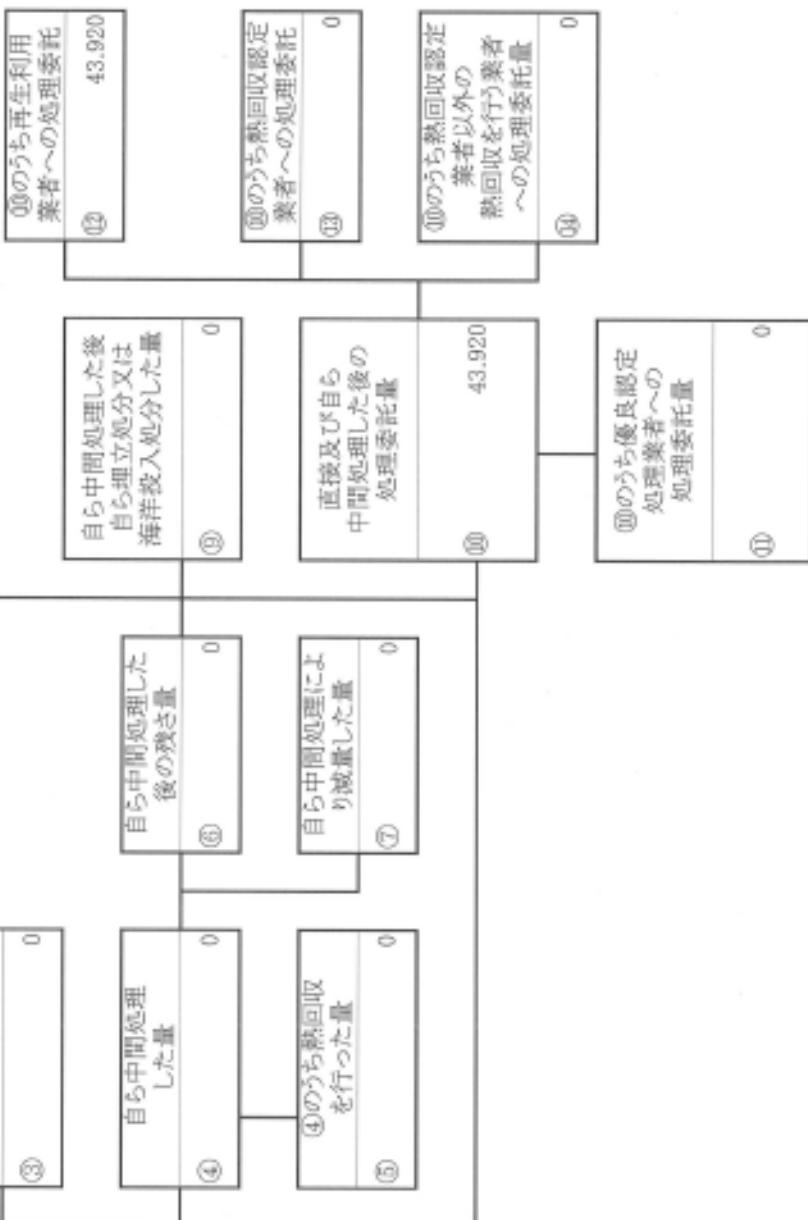
自ら直接 再生利用した量	②	0
-----------------	---	---

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③	0
-------------------------	---	---

排出量	①	43,920
-----	---	--------

項目	実績値
①排出量	43,920
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	43,920
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	43,920
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行う業者以外の処理委託量	0

自ら中間処理した後 再生利用した量	④	0
----------------------	---	---



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑩の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。